

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)京都スタジアム

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質			0.40			3.6
Q1-1 音環境			0.40			3.3
1 音環境		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音	壁、床、天井に吸音材を使用	5.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.31	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.19	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	-	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	内部仕上げ材料はF☆☆☆☆適合品採用	5.0	1.00	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サイバース性能			0.30			3.6
1 機能性		4.0	0.40	-	-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画		4.9	0.30	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.02	-	-	
1 広さ感・景観		-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		5.0	0.98	-	-	
3 内装計画	VIPラウンジなど照明計画と内装計画を一体的に行う	4.5	0.30	-	-	
1.3 維持管理		5.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い内部、外部の仕上げとする	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	維持管理のために必要なスペース、機能を備えている	3.5	0.30	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.8	0.50	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.0	0.80	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法で定められた25%増の耐震性能を有する	3.0	0.20	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.4	0.30	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.10	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SGP-VA,YB、排水:VP、給湯:SUS、消火:SGP	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.3	0.30		-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高平均高さ8,875mmとする	5.0	0.03		-	
2	空間の形状・自由さ	1Fスペースの動かさない壁の量を抑えた計画とする	4.0	0.97		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備設置の行きやすいスペース、導線の確保	4.0	0.20		-	
G3 室外環境(敷地内)			4.0	0.30		-	4.1
1 生物環境の保全と創出		適切な緑化、灌水設備を設置。	4.0	0.30		-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		高さを抑え、沿道に緑の連続性を確保	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー			4.0	0.40		-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		屋根、外壁面に断熱吹付材使用、複層ガラスとする	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		太陽光発電設備の設置	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEU][BEIm] = 0.88	2.6	0.50		-	2.6
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源(マテリアル)			3.6	0.30		-	3.6
1 水資源保護			3.8	0.20		-	3.8
1.1 節水		小便器を節水型とする	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	トイレの洗浄に雨水利用を行う	4.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60		-	3.6
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		リサイクル材を3種目以上使用	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		ウッドマイルーjCO2認定の京都府内産木材利用	5.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料を4つ以上使用	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤					-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地環境			3.3	0.30		-	3.2
1 地球温暖化への配慮		断熱性能の考慮、リサイクル材の利用	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、荷捌きスペース、駐車場を確保	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害のシミュレーションにより外部への影響のない計画とする	5.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

8

8